学校番号	１０８

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	(学)世界史演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	最新世界史図説　タペストリー　二十四訂版（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

現代の世界で起こっていることにはどのような歴史的背景があり、それらを解決するために我々はどう行動するべきなのか。戦後の世界の歩みを学びながら、不確実性が増しつつある今を生き抜くために必要な歴史的思考を身につけよう。

2　学習の到達目標

(1) 現代の諸課題を理解するために第二次世界大戦後の世界の歴史の学習を深めるとともに、諸資料を読み取り、その内容を理解する。
(2) 現代社会の諸課題について、その原因と結果を学び、現代における解決策を表現する。
(3) 政治・経済・文化などの課題について、社会の一員として何ができるかを、常に考える態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代の諸課題の形成に関わる第二次世界大戦後の世界の歩みについて理解している。 諸資料から歴史や現代の諸課題に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。	現代の諸課題やその背景にある歴史に関わる諸事象について、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりしている。考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。	現代の諸課題やその背景にある歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、これからの世界を担う公民としての自覚などを深めている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	新しい国際秩序の形成	・第二次世界大戦後の国際秩序と、東西冷戦やアジア諸国の独立の過程について共通点や相違点を理解する。 ・第二次世界大戦後の国際秩序と東西冷戦における東側、西側社会の社会・文化の特色や相互の関係性、現代への影響を理解する。 ・新しい国際秩序の形成について多面的・多角的に考察し改めて戦後の新しい国際秩序を定義することで、多様性を理解する。	a:国際連合の設立をはじめとする戦後世界秩序の形成とアメリカを主導とするブレトン＝ウッズ体制と呼ばれる国際経済の仕組みを理解している。 国際連合の設立が現代の国際社会の形成に影響を与えていることを理解すると同時に国際連盟との相違点について理解する。 米ソ冷戦の展開と東西ヨーロッパの分断について理解している。 中国の独立と東西冷戦の東アジア拡大の過程について理解する。また東アジア、東南アジア、南アジアで脱植民地化が進み従来の列強と植民地とで構成される国際秩序が崩れ、多くの主権国家で構成される国際秩序ができたことを理解している。 b:戦後世界秩序の形成について、国際社会への影響を比較したり関連付けたりして、戦後世界秩序の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。 米ソ冷戦や東西ヨーロッパの分断の過程や社会への影響を比較したり関連付けたりして、米ソ冷戦の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。 中国の独立と東西冷戦の東アジア拡大、東アジア、東南アジア、南アジアで脱植民地化が進み従来の列強と植民地とで構成される国際秩序が崩れ、多くの主権国家で構成される国際秩序ができた過程や社会への影響を比較したり関連付けたりして、戦後のアジア諸国の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。	定期考査 確認ﾃｽﾄ	定期考査 レポート 課題	レポート 課題 ワークシート提出物

			c:第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成が、現在の民主主義社会を作り上げるのにどのような影響を与えたのかを話し合い、現代の社会においてよりよい民主主義社会や経済のあり方を主体的に探究している。 内容を現代社会への影響と関連付けて追究し、何がどこまで明らかになったか、何を学ばなければならないかを自身で確認できている。			
	冷戦の展開	・冷戦の特色を考察し、西側と東側社会の共通点や相違点を理解する。 ・冷戦時代の西側・東側の社会・文化の特色や相互の関係性、現代への影響を理解する。 ・冷戦の展開について多面的・多角的に考察し改めて冷戦について定義することで、冷戦の意義について理解する。	a:冷戦による東西の軍事同盟の広がりと核兵器の開発、拡散する一方で核兵器廃絶と平和を訴える運動について理解している。 戦後のアメリカ社会の状況および西欧・日本の経済復興がECの設立や戦後日本の経済成長に影響を与えていることを理解している。 ソ連の「雪どけ」による東欧の民主化運動と結果、西側との平和共存とその後の対立について理解している。 b: 東西冷戦下での軍事同盟の広がりや核兵器の開発の展開や社会への影響を比較したり関連付けたりして、冷戦の展開を多面的・多角的に考察し、表現している。 戦後のアメリカ社会や西欧・日本の経済復興の展開や社会への影響を比較したり関連付けたりして、冷戦の展開を多面的・多角的に考察し、表現している。 ソ連の「雪どけ」の展開や、東欧や西欧社会への影響を比較したり関連付けたりして、冷戦の展開を多面的・多角的に考察し、表現している。 c:冷戦が、現在の民主主義社会を作り上げるのにどのような影響を与えたのかを話し合い、現代の社会においてよりよい民主主義社会や経済のあり方を主体的に探究している。	定期考査 確認ﾃｽﾄ	定期考査 レポート 課題	レポート 課題 ワークシート提出物

	第三世界の台頭とキューバ危機	・第三世界の特色を考察し、第三世界台頭したアジア・アフリカ・ラテンアメリカ諸国の共通点と相違点について理解する。 ・第三世界の社会・文化の特色や相互の関係性、東西陣営との対立にどのように対応したかを理解する。 ・キューバ危機が核不拡散の対立とどのような関わりがあるのか理解する。 ・第三世界の台頭について多面的・多角的に考察し改めて第三世界の台頭について定義することで、第三世界の多様性を理解する。	a:アジア・アフリカ諸国の非同盟運動や、スエズ戦争やインドシナ戦争が植民地体制にどのような影響を与えたか理解している。 アフリカの独立と、その後のアフリカ統一機構の設立がアフリカの連帯を強める一方、コンゴ動乱やアパルトヘイト、内線やクーデタなどの諸問題で経済的には安定せず南北問題と呼ばれる格差が生じたことを理解している。 ラテンアメリカの動向やキューバ革命など、アメリカとどのような関わりがあり影響を受けたのか理解している。 キューバ危機と核不拡散の対立とどのような関わりがあるのか理解する。また、核拡散の問題が現代にまで影響を与えることを理解している。 b:アジア・アフリカ諸国の非同盟運動について、社会の変化や影響を比較したり関連付けたりして、アジア・アフリカの非同盟運動の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。 アフリカ諸国の独立と南北問題について、社会の変化や影響を比較したり関連付けたりして、アフリカ諸国の独立と南北問題の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。 ラテンアメリカ諸国の動向とキューバ革命について、社会の変化や影響を比較したり関連付けたりして、ラテンアメリカ諸国の動向とキューバ革命の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。 キューバ危機と核不拡散体制の成立について、社会の変化や影響を比較したり関連付けたりして、キューバ危機と核不拡散体制の成立の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。	定期考査 確認ﾃｽﾄ	定期考査 レポート 課題	レポート 課題 ワークシート提出物

			c:第三世界の台頭が、現在の民主主義社会を作り上げるのにどのような影響を与えたのかを話し合い、現代の社会においてよりよい民主主義社会や経済のあり方を主体的に探究している。 「第三世界の台頭」「キューバ危機」などの学習の視点や方法について確認し、モノカルチャー経済や核拡散防止に向かったことの意義について、学習の視点や方法などのつながりを見出そうとしている。			
2学期	冷戦体制の動揺	・冷戦体制の動揺について考察し、冷戦体制が動揺した東側、西側社会の共通点と相違点について理解する。 ・冷戦体制の動揺の結果、米ソや中国社会はどのような変化や対応をしたのか理解する。 ・第三世界の開発独裁と東南・南アジアの自立化について冷戦体制の動揺とどのようなかかわりがあるのか理解する。 ・冷戦体制の動揺について多角的多面的に考察し改めて冷戦体制の動揺について定義することで、その後の社会体制の多様性を理解する。	a:ベトナム戦争の過程と結果、およびアメリカの戦争介入から撤退までの過程について理解している。 インドシナ半島各国の独立について理解している。 1960～70 年代のアメリカ社会の諸問題、ソ連・東欧社会の動向、ヨーロッパの緊張緩和について理解している。 中ソ対立と、それによる中国とアメリカ・日本との関係正常化と、文化大革命の終了と改革・開放路線の推進に至る過程を理解している。 第三世界の開発独裁、東南・南アジアの自立および ASEAN などの地域協力などが、各国の政治・経済体制を形成したことを理解している。 b:ベトナム戦争について、社会の変化や影響を比較したり関連付けたりして、ベトナム戦争の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。 1960～70 年代のアメリカとソ連の変容やヨーロッパでの緊張緩和について、について、社会の変化や影響を比較したり関連付けたりして、当時の社会の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。	定期考査 確認ﾃｽﾄ	定期考査 レポート 課題	レポート 課題 ワークシート提出物

			中ソ対立と文化大革命、改革・開放に至る過程について、社会の変化や影響を比較したり関連付けたりして、中ソ対立と文化大革命の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。 第三世界の開発独裁と東南・南アジアの自立化について、社会の変化や影響を比較したり関連付けたりして、第三世界の開発独裁と東南・南アジアの自立化の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。 c:冷戦体制の変化が、現在の民主主義社会を作り上げるのにどのような影響を与えたのかを話し合い、現代の社会においてよりよい民主主義社会や経済のあり方を主体的に探究している。 現代社会への影響と関連付けて追究し、何がどこまで明らかになったか、何を学ばなければならないかを自身で確認できている。			

	産業構造の変容	・ドル=ショックとオイル=ショックの影響を考察し、西側先進諸国での産業構造の転換、新自由主義的政策と女性の社会進出、ラテンアメリカの民政移管を理解する。 ・第3次中東戦争、第4次中東戦争、イラン=イスラーム革命の影響を考察し、アラブ諸国、イスラエルの情勢と、世界経済の変化を理解する。 ・1970～80 年代の世界経済について考察し、開発途上国が高い経済長をとげ、アメリカ・西欧・日本で貿易摩擦が激化したことを理解する。	a:ドル=ショックとオイル=ショック後、西側先進諸国が産業構造を転換し、経済政策も大きく変化させたこと、ラテンアメリカで民政移管が進んだことを理解している。 第３次中東戦争、第４次中東戦争、イラン=イスラーム革命が中東の情勢と世界経済に与えた影響を理解している。 新興工業経済地域への動きが広がった開発途上国が高い経済成長をとげ、アメリカ・西欧・日本で貿易摩擦が激化したことを理解している。 b:オイル=ショックに対する西側諸国の対応をソ連と比較したり、新自由主義的経済政策と関連づけたりして、世界経済の転機を多角的・多面的に考察し、表現している。	定期考査 確認ﾃｽﾄ	定期考査 レポート 課題	レポート 課題 ワークシート提出物

			第 3 次中東戦争と第 4 次中東戦争の影響を比較したり、イラン=イスラーム革命とイラン=イラク戦争を関連づけたりして、中東の情勢と世界経済の変化を多角的・多面的に考察し、表現している。 開発途上国と先進国の経済政策を比較したり、先進国の先端技術開発競争を貿易摩擦と関連づけたりして、1970～80 年代の世界経済について多角的･多面的に考察し､表現している。 西側先進諸国の産業構造の転換と新自由主義的政策の推進、第 3 次・第 4 次中東戦争とイラン=イスラーム革命が世界に及ぼした影響を多面的･多角的に考察し､1970～80 年代の世界経済の変化を表現している。 c：1970 年代の世界経済の転換は、人々の生活にどのような影響を及ぼしたのかを話し合い、これからの世界がより良い社会を形成するために何が必要であるかを主体的に追求しようとしている。			

	冷戦の終結	「新冷戦」が生じた経緯、ゴルバチョフが改革に取り組んで背景を考察し、米ソ間の緊張が緩和し、東欧諸国では社会主義体制が崩れたことを理解する。 中国の民主化要求の展開とその結果を考察し、同時代に韓国、台湾で民主化が進み、南アフリカでは人種差別法が全廃されたことを理解する。 冷戦終結宣言が世界に及ぼした影響について考察し、資本主義と社会主義の対立が、ソ連の消滅により資本主義の勝利で終わったことを理解する。	a:「新冷戦」の展開、ゴルバチョフの改革と米ソ間の緊張緩和、東欧諸国での社会主義体制崩壊の経緯を理解している。 中国では経済発展にともなう民主化運動が挫折したこと、同時代の韓国、台湾では民主化が進み、南アフリカでは人種差別法が全廃されたことを理解している。 冷戦終結宣言が世界におよぼした影響と、冷戦下での資本主義と社会主義の対立が、ソ連の消滅により資本主義の勝利で終わったことを理解している。 b: 1970 年代のアメリカとソ連の外交政策を比較したり、ゴルバチョフの政策を東欧諸国の社会主義崩壊と関連づけたりして、1970～80 年代の米ソと東欧諸国の状況を、多角的・多面的に考察し、表現している。 東欧諸国と中国の民主化運動を比較したり、国際世論と南アフリカの人種差別法全廃を関連づけたりして、1970～90 年代のアジア、アフリカの状況を、多角的・多面的に考察し、表現している。 冷戦終結後の米ソの社会を比較したり、市場経済への移行をソ連の消滅と関連づけたりして、冷戦終結後の世界について多角的・多面的に考察し、表現している。 c:冷戦終結後の世界の変化は、人々の生活にどのような影響を及ぼしたのかを話し合い、これからの世界がより良い社会を形成するために何が必要であるかを主体的に追求しようとしている。	定期考査 確認ﾃｽﾄ	定期考査 レポート 課題	レポート 課題 ワークシート提出物

3学期	今日の世界	・社会主義が解体した旧社会主義圏と、共産党の一党支配を維持した中国でおこった民族問題を考察し、韓国・北朝鮮・台湾の動向を理解する。 ・東南アジア諸国、インド、アフリカ、中東の民族問題や政治・社会・経済について考察し、冷戦終結後の各国が民族問題等、多くの問題に直面していることを理解する。 ・世界貿易機関や世界各地で発足した経済協力をめざす組織について考察し、冷戦終結後に形成された世界経済の多元的な構造を理解する。 ・同時多発テロ後の世界情勢の変化を考察し、アメリカ・中国・ロシア・EU諸国が直面する諸問題について理解する。	a: 旧社会主義圏でおこった民族紛争、共産党が一党支配を維持する中国で起こった民族問題、韓国・北朝鮮・台湾の現在の状況を理解している。 東南アジア諸国、インド、アフリカ、中東の民族問題や政治・社会・経済の諸問題等、冷戦終結後の各国が直面する問題を理解している。 世界貿易機関や、世界各地に形成された経済協力をめざす組織によって形成された、冷戦終結後の世界経済の多元的な構造を理解している。 同時多発テロが世界上に及ぼした影響や、アメリカ・中国・ロシア・ＥＵ諸国が直面する諸問題を理解している。 b:旧社会主義圏と中国の民族問題を比較したり、中国の経済政策を東アジア諸国の問題と関連づけたりして、世界の状況を多角的・多面的に考察し、表現している。 東南アジア諸国、インド、アフリカ、中東の諸問題を比較したり、各地の地域紛争と関連づけたりして、世界の状況を多角的・多面的に考察し、表現している。 世界各地に形成された経済協力をめざす組織の活動を比較したり、世界経済の諸問題と関連づけたりして、世界の状況を多角的・多面的に考察し、表現している。 c:「民族対立と地域紛争」「同時多発テロ」「多極化と国際協力」などの学習の視点や方法ついて確認し、これからの世界について学習する視点や方法などを見出そうとしている。	定期考査 確認ﾃｽﾄ	定期考査 レポート課題	レポート課題 ワークシート提出物

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度